

2015年度 高等学校卒業式「卒業生答辞」 2016年3月1日

日差しが日増しに暖かくなり、逗子の海も輝きを増す季節となりました。

本日、私たちは逗子開成高校を卒業します。先生方、在校生の皆さん、私たちのためにこのような素晴らしい式典を催していただき、ありがとうございます。来賓の皆さま、保護者の皆さま、私たちの為に足をお運びいただきましたこと、心よりお礼申し上げます。

六年前、この同じ場所で入学を祝っていただいたのが、ついこの間のことのように感じられます。それほど、この逗子開成での中高生生活は、豊かで実り多いものでした。

振り返ると、体育祭では、応援団を何度も経験し、全体を盛り上げようと、皆で工夫を凝らしました。男子校ならではの激しい競技もあり、特別なイベントでした。特に、高三の体育祭は最後の学校行事で、事前の練習にも熱が入り、やり遂げたときの感動はひとしおでした。

開成祭では、実行委員を中心に、伝統を守りつつ、新しいものも積極的に取り入れました。私たちは、突然大勢が踊り出すフラッシュモブというものを初めて試みました。そんな中、とても多くの方が協力してくれたのを今でも覚えています。他の企画においても誰もが、部や学年を越えて皆で一つのものを作り上げているという一体感を感じることができたと思います。

部活動では、私は六年間、フィジカルアート部に所属していました。一つ一つの公演に全員が出演する、つまり皆が主役になれるこの部を、私はとても好きでした。公演を重ねる

うちに、生徒も保護者の方々も、そして先生まで、より多くの方に覚えていただいたのが私たちの誇りです。

そして、最後の全力投球は受験でした。勉強が楽しいとは決して言えませんが、先生方に支えられ、仲間と一緒に乗り越えるのが、我が校の強さです。一番つらい時期に、同じ目標に向かって共に努力した友人は、きっと一生の宝です。このような経験を経たからこそ、私はこれからも強く生きていけそうな気がします。

このように充実した六年間、先生方はその全てを温かく見守って下さいました。まだ幼かった中学生時代は、悪ふざけを厳しく叱り、頑張ったときには手放しでほめて下さいました。高校生になるといつも、一人ひとりを尊重し、大人になろうとする私たちを応援して下さいました。怖いほど冷静な先生から、親しみやすい先生、面白いほど熱い先生までいらっしゃいますが、どの先生にも本当にお世話になりました。

そして、お父さんお母さんは、いつも私たちの活動を熱心に応援してくれました。息子が所属する部活に限らず、いろいろな部活の試合や公演に来てくれる方もたくさんいました。本当にありがとうございます。これからも、私たちが大人に、そして立派な人間へと成長していけるように、そっと見守ってください。

二年生の皆さん、これまで私たちを力強く支えてくれたのを良く覚えています。応援団はまるで部活のようで、一緒に練習し、本番をやり遂げた喜びは忘れません。私たちが始めたフラッシュモブは、今年度も開成祭でやったと聞き、とても嬉しいです。部活で、またそうじゃなくても行事などで、私たち高3から何かを感じ、そしてこの先ひきついでくれたなら、きっと、ここにいる卒業生は嬉しいことでしょう。

来年度、皆さんは受験に向かうわけですが、仲間を大事にして頑張ってください。受験において友人の存在が力になるということは間違いありません。孤独にならずに、最後まで駆け抜けていってください。

卒業生の皆へ。ここで私は、以前にも皆の前で発表したことのある言葉を、もう一度言いたいと思います。英語です。覚えていますか。

You have the power! The power to create happiness. You have the power to make this life a wonderful adventure.

チャップリンの言葉です。私たちは皆、自分自身のうちに、幸せを作り出し、人生を素晴らしい冒険にする力を持っているのです。この学校での六年間、私たちにそのような力を与えてくれました。この恵まれた環境を離れ、私たちはそれぞれ新たな場所で、新たな経験を積んでいきます。その中で、この六年間を通して学んだことを大いに生かし、己の力で前へ進んでいけると確信しています。僕は、この学校が、そしてこの学年の皆が大好きです。今、自分の周りにはいる友を忘れずに、これからも生きていきましょう！

最後になりますが、今日まで私たちを支えて下さった皆さまに改めてお礼申し上げますとともに、逗子開成学園のますますのご発展をお祈りし、答辞の言葉とさせていただきます。

平成二十八年三月一日

卒業生代表 三澤 友康